

令和 6 年度

市民生活部

人権・まちづくり課

国際・交流推進係

総社市における 多文化共生施策 の概要



総社市

1. 総社市の概要

総社市は、岡山県の南西部に位置し、東部は岡山市、南部は倉敷市の2大都市に隣接しています。人口は約7万人、総面積は211.90平方kmで、地域の中央を北から南に岡山県の三大河川のひとつ高梁川が貫流しており、瀬戸内海特有の温暖、少雨の恵まれた気候です。

本市は、かつて古代吉備の国の中心として栄えた地域であり、古墳時代には吉備の中心地として栄えたことをうかがわせる数多くの古墳が残されています。飛鳥・奈良時代には、備中の国府も置かれ、備中の国の政治・経済・文化の中心地として栄えました。平安時代には備中国内の神々を合祀した総社宮が建てられました。総社市の名称はこれに由来しています。



2. 総社市多文化共生施策の背景

総社市には、三菱自動車を中心とした自動車部品工場が集積した地域があり、平成2年の出入国管理及び難民認定法改正以降、南米系ニューカマーであるブラジル人、ペルー人をはじめとする多くの外国人労働者が雇用されました。外国人労働者の多くは非正規雇用等の不安定な就労状況にあり、平成20年秋のリーマン・ショックに端を発した経済危機により多大な影響を受け、その多くが解雇されました。



市はこうした事態を受け、平成20年12月に、解雇された日系ブラジル人等の相談窓口として、商工観光課内にブラジル人通訳を配置し、雇用に関する相談業務を行ってきましたが、解雇に起因する問題は就労問題だけに留まらず、住宅、医療、保険、教育など日常生活全般に関して多岐に及んでいました。

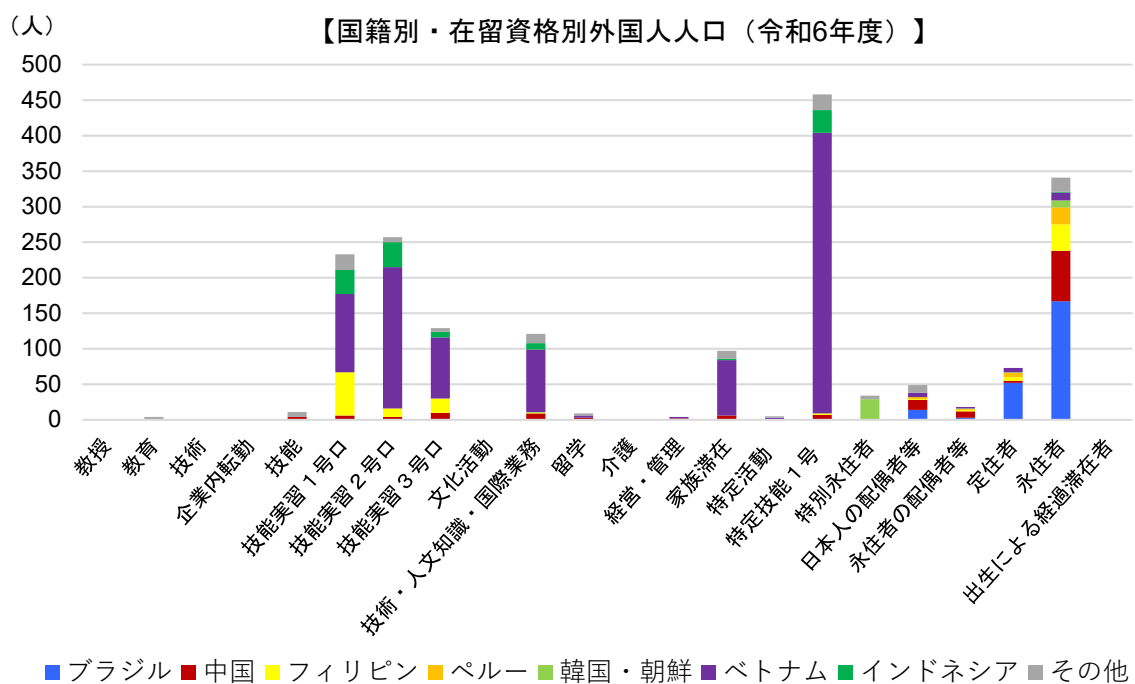
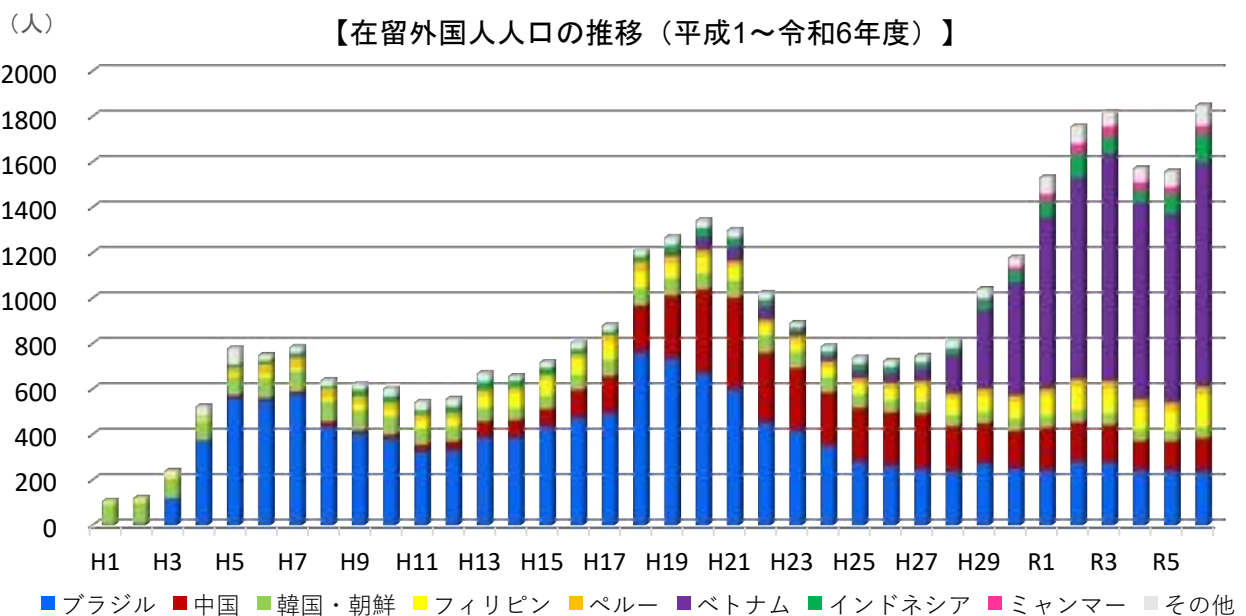
そのような状況の中、平成21年4月、外国人市民の生活全般に関わる自立支援を行う目的で人権・まちづくり課内に国際・交流推進係を新設しました。「国籍を越えた多文化共生のまちづくり」をキーワードに、多文化共生施策を市政の重要施策と位置づけ、係設置直後から「外国人市民との顔が見える関係づくり」を目指し、多文化共生推進員を配置して、きめ細やかな相談業務を通じて聞こえてくる外国人市民の声を反映した特徴のある多文化共生事業を展開しています。

また、国際的医療・救援系NGOであるAMDAグループと協定を締結、多文化共生施策の先進都市である静岡県浜松市と覚書を締結、南米日系人を中心とする外国人住民が多数居住する都市等で構成された外国人集住都市会議に加盟するなど、他団体の活動経験から得られたノウハウや知識を活かした多文化共生事業を推進しています。近年はベトナム人を中心に企業で働く技能実習生が急速に増加しており、企業との連携も視野に入れ、地域の多文化共生推進により一層力を入れています。

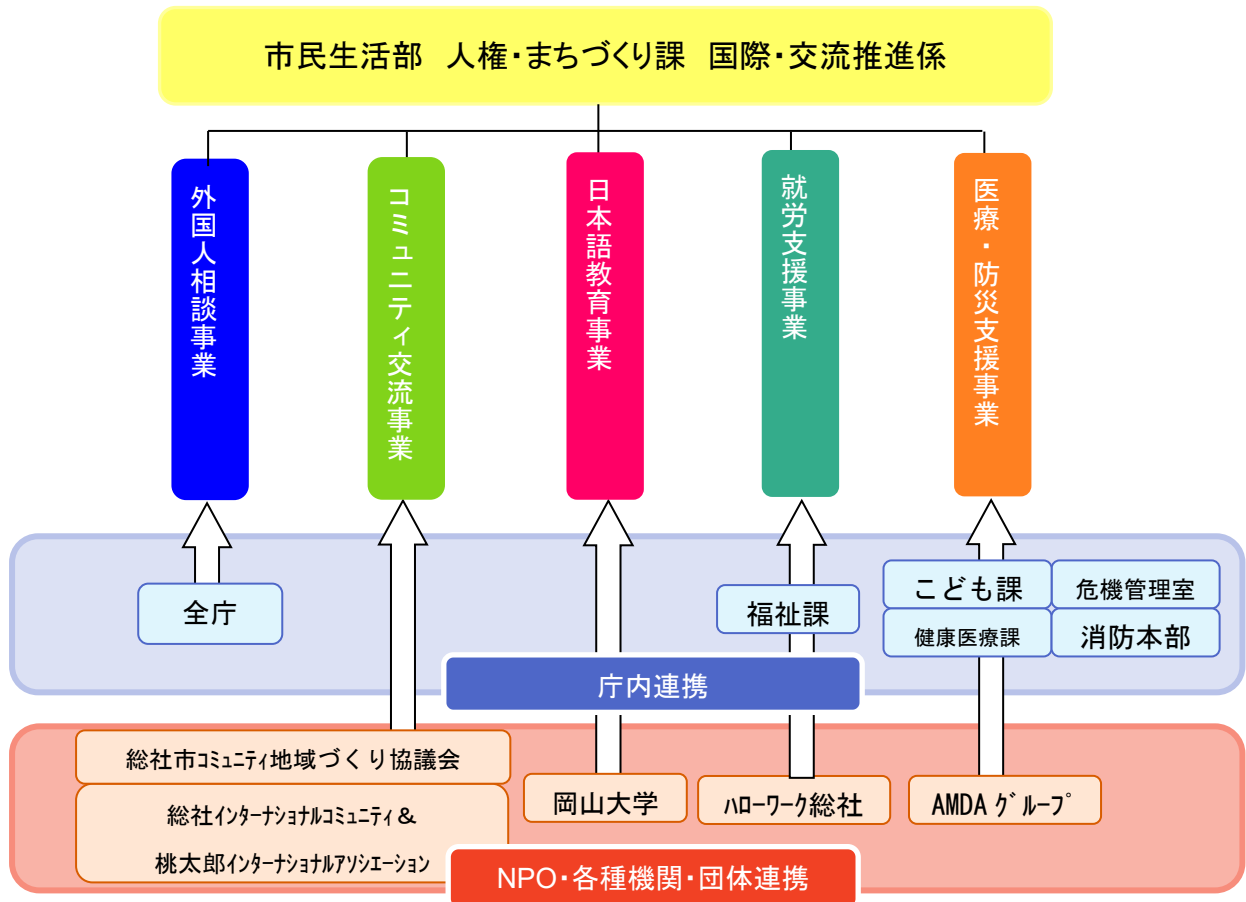
3. 外国人の状況（各年度4月1日現在）

総社市の外国人市民は、令和6年4月1日現在、1,847人であり、総人口69,580人の2.65%を占めています。国籍別では、ベトナム（53.5%）、ブラジル（12.8%）、中国（8.0%）が多く、総計32カ国の外国人市民が居住しています。平成20年の経済状況の悪化で外国人人口は減少しましたが、平成27年度以後は増加に転じ、東南アジア出身者の割合が増加しています。令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により一時的に減少しましたが、令和5年度に入ってから再び増加に転じています。

在留資格別で見ると、ブラジル、ペルー、中国、フィリピンは「永住者」「定住者」及びその配偶者、ベトナム、インドネシアは「技能実習」「特定技能」「技術・人文知識・国際業務」が多く、多国籍化や在留資格の多様化など、外国人市民の状況の変化により、行政に対するニーズも多様化しています。



4. 多文化共生事業の推進体制



【外国人集住都市会議への参加】

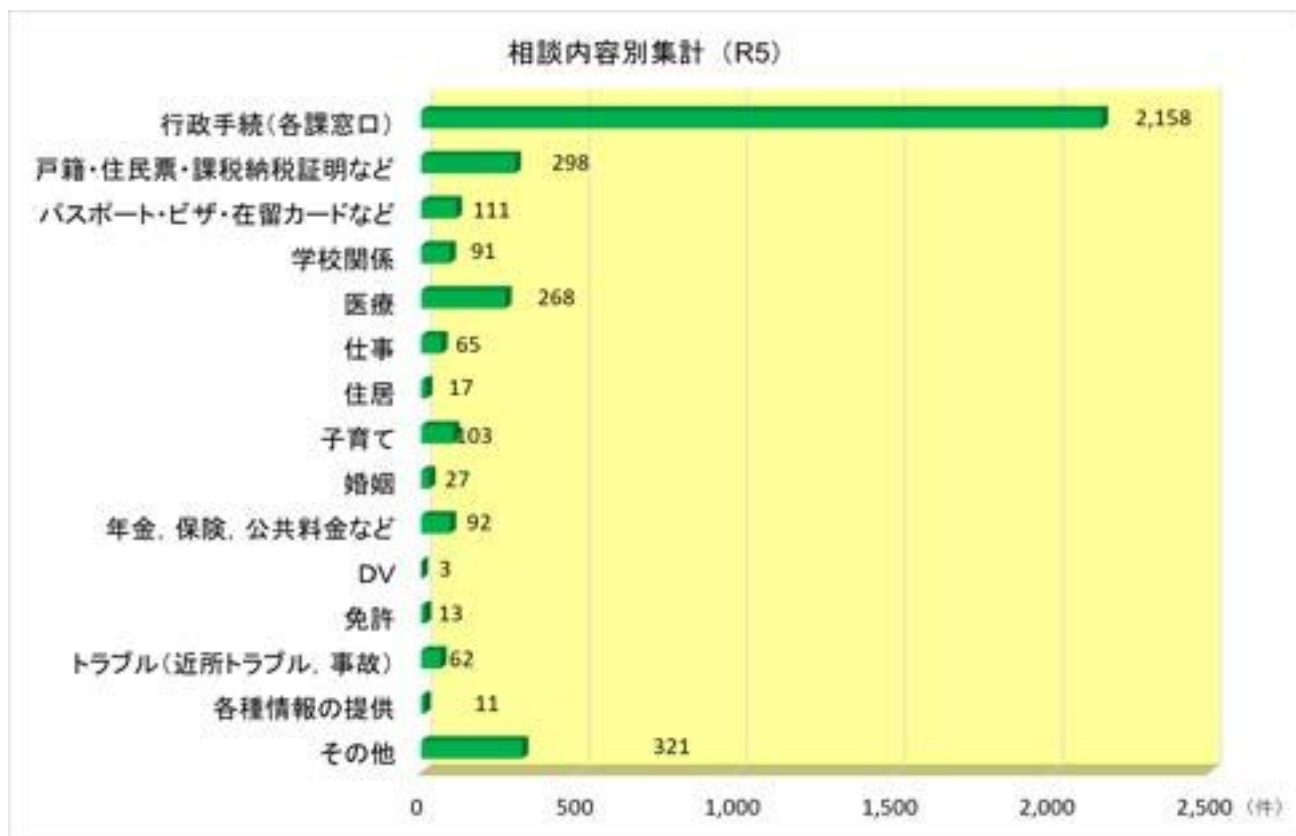
平成 22 年 4 月から、ニューカマーと呼ばれる南米日系人を中心とする外国人住民が多数居住する都市によって構成されている「外国人集住都市会議」に加入し、各会員都市との情報交換や研究等を行っています。会員都市の中では人口に占める外国人比率は最も低い総社市ですが、外国人比率の高い自治体とは少し異なった視点から小規模自治体としての問題点についても提言を行っています。

平成 27 年度には三重・滋賀・岡山ブロックのブロックリーダー市になり、自治体間での連携を強化しながら多文化共生事業を推進し、平成 28 年度には、外国人を雇用している企業へのニーズ調査を実施しました。

5. 外国人相談事業

総社市では、平成 21 年 10 月から外国人窓口を設置し、通訳を 1 名（英語・ポルトガル語・スペイン語対応）配置しました。平成 26 年 4 月には新たに 1 名（中国語通訳）増員し、平成 31 年 4 月からさらに 1 名（ベトナム語通訳）増員しています。

相談内容は行政手続等に関わるコミュニケーション支援が最も多く、子どもの教育（保育・公立学校）や医療、税金、ビザ、居住、生活保護に関する相談も多く寄せられています。



【外国語広報紙「SOJA BRAZILIAN NEWS」「総社チャイニーズニュース」

「総社ベトナムーズニュース」「広報そうじゃ やさしい日本語版」の配布】

外国人市民が行政の情報を入手しやすいよう、毎月、市の広報紙を抜粋し、多言語翻訳版とやさしい日本語版を発行しています。ブラジル人・ペルー人・中国人・ベトナム人をはじめとした市内在住の外国人全世帯に配布し、市の行事や健康・生活に関わる情報を発信しています。

■ポルトガル語版「SOJA BRAZILIAN NEWS」

■中国語版「総社チャイニーズニュース」

■ベトナム語版「総社ベトナムーズニュース」

■やさしい日本語版「広報そうじゃ やさしい日本語版」



6. コミュニティ交流事業

平成 22 年 7 月 18 日、日本社会の一員として自立し、互いに助け合い、交流活動を積極的に行うことを目的に、南米系外国人市民を中心に「総社ブラジリアンコミュニティ」が設立されました。現在は、南米系以外の外国人をも含めた「総社インターナショナルコミュニティ&桃太郎インターナショナルアソシエーション」として活動しています。

日本人市民のコミュニティの集合組織である「総社市コミュニティ地域づくり協議会」との協働企画により、年に 1 度、日本人と外国人との交流イベントを開催しています。



7. 日本語教育事業

「総社市地域参加型生活サポート日本語教育事業」

外国人住民が日本人住民との交流を通して、日本語の習得とコミュニケーション能力の向上を図りながら地域社会の一員として積極的に参加できるよう地域全体が支える多文化共生のまちづくりを目指す。

日本語教室の設置・運営
(H22 年度からの継続事業)
「地域でつながる日本語教室」
(H24～)
「暮らし方教室」(R1)

日本語教育を行う人材の育成・研修
(H22 年度からの継続事業)
「地域に根ざした日本語学習
サポーター育成研修」(H24～)

日本語教育のための
学習教材の作成
「地域密着型日本語学習
教材作成」(H24～H26)

地域の各種団体・機関等との連携・協力による日本語教育の推進
「地域コミュニティ連携防災訓練事業」(H27～)
「地域ではぐくむ子育て応援事業」(H27～)
「地域で働く外国人就労者の日本語教育支援に関する調査研究事業」(H28～H29)

平成 22 年度から平成 30 年度まで、文化庁「「生活者としての外国人」のための日本語教育事業」を受託し、令和元年度から市の財源による事業運営に移行しました。毎週日曜日、市役所で「地域でつながる日本語教室」を開講しています。地域に暮らす外国人市民が、日本人市民との交流を通して、日本での生活を円滑に行うために必要な日本語コミュニケーション能力の向上を図りながら、地域住民同士がつながる場を提供することを目的としています。R2～R3 年度は新型コロナウイルス感染予防のため、Web 会議システムを利用したオンライン上（R3 年度は一部対面）で実施しました。

「地域に根ざした日本語学習サポーター育成研修」では、地域の日本語教育に携わる専門家により外国人支援に関する基礎的知識を習得するとともに、日本語学習サポーターとして実際に日本語教室に参加して学ぶ交流・実践型研修を実施しています。R2～R3 年度はオンライン（一部対面）で行いました。

「地域コミュニティ連携防災訓練事業」では、地域に暮らす外国人住民に対し、防災訓練へ参加する機会を提供し、外国人住民の立場に立った防災知識の習得と災害時のより実用的な日本語習得を目指すとともに、日本人住民と日常からの「顔が見える関係づくり」を行っています。

「地域ではぐくむ子育て応援事業」では、子育て世代の外国人保護者と子供を対象に、同世代の親子が集まる交流の場に参加する機会を提供し、地域全体で子育てを応援することを目的としています。

「地域密着型日本語学習教材作成」では、日本語教室で使用した学習教材や教室活動の様子を 3 冊の冊子にまとめました。「地域で働く外国人就労者の日本語教育支援に関する調査研究事業」では、外国人を雇用している企業における日本語教育支援の実態とニーズや課題を明らかにするため、企業と、企業で働く外国人就労者にアンケート調査を行いました。

【職員研修「やさしい日本語」の実施】

外国人市民を支援する最前線にいる市職員を対象に、多文化共生意識の啓発・向上と、「やさしい日本語」の習得を目的に、専門家である外部講師を招いて職員研修を毎年実施しています。



8. 就労支援事業

国の出先機関との一体的な支援業務に基づき、平成 23 年 7 月から倉敷職業安定所総社出張所（ハローワーク総社）に「就労支援ルーム」を設置し、「福祉から就労」支援事業を実施しています。

就労支援ルームは、生活保護者、児童扶養手当受給者、住宅手当受給者、障がい者及び外国人等の就労困難者の早期就職による経済的自立の実現を図ることを目的としています。

●総社市：相談員 自立支援推進員（1 名）、

ポルトガル語通訳（1 名）

●ハローワーク総社：就職支援ナビゲーター（2 名）

就職相談員（福祉人材誘導）（1 名）、

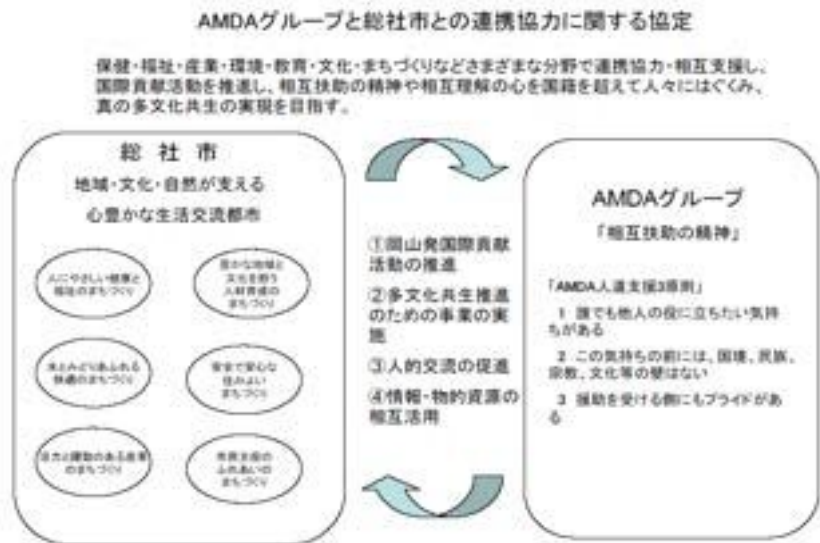
心理カウンセラー（非常勤）

●支援内容：「就労支援プラン」策定、「就労支援メニュー」の提供、障がい者雇用の促進、自殺予防対策、外国人等の支援（履歴書作成指導、同行紹介、基金訓練等による能力開発）など



9. 医療・防災支援事業

AMDA グループは、我が国の医療系・国際救援系の数ある NGO の中で、国際連合から総合協議資格の認証を与えられた団体であり、世界各国での活動経験から得られたノウハウを本市の多文化共生施策に生かす目的から、平成 21 年 6 月に「多文化共生に関する協定」を締結しました。



【多言語医療ガイドの作成・配布】

AMDA 国際医療情報センター（在日外国人のための医療相談や医療情報の提供を実施）の協力により、『総社市多言語医療ガイド』（5 カ国語対応：英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語）を作成し、市内在住外国人全世帯及び市内全医療機関に配布しています。

多言語医療ガイドには、市内医療機関マップ、診療補助表、服薬指導、歯科診療補助表が収められています。



【外国人防災教室】

平成 22 年度総社市防災訓練に、初めて外国人市民が参加しました。防災訓練後、AMDA グループ公設国際貢献大学の協力により「外国人向けの防災教室」を実施しました。

平成 23 年度は、日本人市民・外国人市民がともに地域住民として一体となった避難訓練と避難所体験訓練を行いました。避難所では、炊き出しを食べたり、AED 使用法の研修を実施しました。

平成 24 年度以後も毎年、総社市防災訓練に外国人市民が参加し、日本人市民とともに実体験を通して防災について学んでいます。



【外国人防災リーダー養成研修】

平成 25 年度には、公設国際貢献大学校（新見市）等との連携による「外国人防災リーダー養成研修」を開催しました。

災害時の定住外国人への支援に関して、被災者の心理的ストレスや支援者のセルフケアの方法について学び、非常食の作成体験、多言語防災カードに関するワークショップを行い、普通救命講習、避難所模擬研修を受けました。また、総社市で起こった過去の災害状況を知り、今後予想される災害について学ぶとともに、外国人防災リーダーとしての今後の取り組みについて話し合うワークショップを実施しました。



平成 26 年度から、市主催の防災訓練で市民の方へ土のう作りをレクチャーするなど、「支援する側」としての活動を始めています。

【外国人防災カード作成事業】

平成 25 年度に開催した「外国人防災リーダー養成研修」の一環として「総社市外国人防災カード」（やさしい日本語版と、5 カ国語：英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語に日本語を併記したもの）を作成しました。外国人防災カードは、「災害伝言ダイヤル 171 カード」とともに防水ケースに入っています。

外国人防災カードに記載する内容は、外国人防災リーダーと行政職員との協働によるワークショップにより決定しました。



総社市 市民生活部 人権・まちづくり課 国際・交流推進係

〒719-1192 岡山県総社市中央一丁目 1 番 1 号

TEL: (0866) 92-8242 FAX: (0866) 93-9479

URL: <http://www.city.soja.okayama.jp/>

e-mail: jinken-machi@city.soja.okayama.jp



総社市外国人防災リーダー



大規模災害に対する総社市の支援活動等

H21	AMDAグループと総社市との多文化共生に関する協定締結
H22	総社市防災訓練に、初めて外国人市民が参加
H23	ブラジル洪水被害に対する緊急支援活動 ※AMDA総社市合同ミッション 東日本大震災発生に伴う支援活動
H25	甚大な水害が発生した山口市, 島根県津和野町へ支援物資配送 フィリピン台風被害に対する緊急支援活動 ※AMDA総社市合同ミッション AMDA, 岡山県立大学, 総社市で「世界の命を救う」連携協力に関する協定締結 「総社市大規模災害被災地支援に関する条例」を制定 外国人防災リーダー養成研修を開始

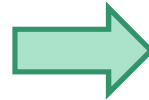
「支援される側」から「支援する側」へ

日本で発生する災害を見てきた
外国人コミュニティのメンバーが

「支援する側になりたい」

「災害時に役に立ちたい」

と考えはじめた。



H25に「外国人防災リーダー養成研修」を開始



認定者数：10カ国、73名
(R6. 10 現在)

総社市外国人防災リーダー養成研修(R4)

- ① 普通救命講習
- ② 防災研修「総社市の過去の災害状況と防災対策について」
- ③ ワークショップ「多言語での『防災マニュアル作成』」※8カ国語で作成中
⇒R5年度に完成



総社防災マニュアル

やさしい日本語版



写真：平成30年7月豪雨の被害のようす

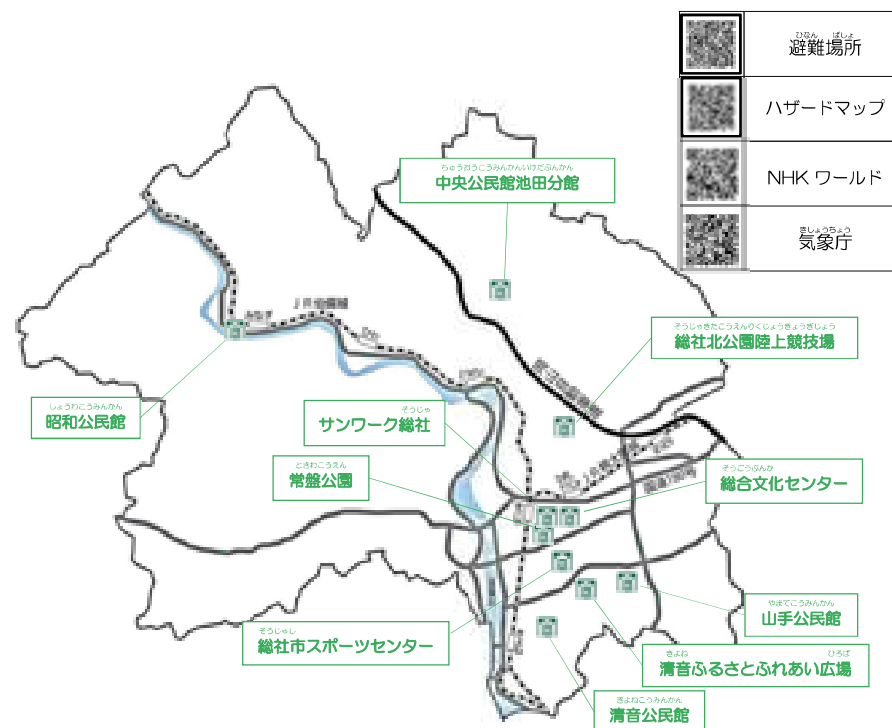


さくせい
作成

総社市外国人防災リーダー

2024年4月発行

避難場所の情報



	避難場所
	ハザードマップ
	NHK ワールド
	気象庁

避難場所などの図記号

	洪水		禁煙		案内		乳幼児用設備		飲めない
	土石流		喫煙所		男性		けが人		ペット禁止
	津波		飲料水		女性		立入禁止		非常口
	がけ崩れ		Wi-Fi		トイレ		電話使用禁止		薬
	火事		シャワー		救護所		静かに		消火器
	避難所		浴室		医師		土足禁止		非常電話
	避難場所		更衣室		通訳		さわらない		ガソリンスタンド
	ごみ箱		受付		ペット避難所		捨てない		コンビニエンスストア

災害発生の危険度

大雨による災害は発生するまでに、時間に余裕があります。テレビやインターネットなどで情報をあつめて、早めに行動しましょう。

緊急安全確保	危ないです。 災害が起きています。 命を守ってください。		警戒レベル5
~~~~~ここまでに 全員 逃げてください~~~~~			
避難指示	すぐに全員逃げてください。		警戒レベル4
高齢者等避難	お年寄り、けがをしている人、子どもは逃げてください。		警戒レベル3
大雨・洪水・高潮注意報	近くの避難所を調べておきましょう。		警戒レベル2
早期注意情報	ニュースを見て災害のことを考えましょう。		警戒レベル1

# わたしの情報

名前	生年月日	性別	血液型	国籍	母国語
パスポート番号	在留カード番号	電話番号	住所		
世帯員					
名前	続柄	生年月日	性別	会社/学校	電話番号
日本の連絡先				緊急連絡先	
名前	電話番号	住所	 消防 119  救急  警察 110		
母国の連絡先					
名前	電話番号	住所			
病気のこと				総社市役所	
病気名		アレルギー		人権・まちづくり課 (外国人防災リーダー)	
薬 種類	病院	健康保険	0866-92-8242		
有 ・ 無し			総社市多文化共生Facebook		
家から近い避難所			日本語について		
			・ ぶつうの会話ができます ・ 分かりません		

## 防災グッズ

(いざという時にすぐに持ち出せるように、準備しておきましょう)



### リュックサックにに入れて用意しておきましょう

水	食べ物	懐中電灯	ライター	ろうそく	反射材
消毒液	ばんそうこう・ガーゼ	いつも飲んでいる薬	軍手	ティッシュ・ウェットティッシュ	タオル
マスク	使い捨てカイロ	洗面用具	パスポート(コピー)	住民カード(コピー)	健康保険証(コピー)

### 家に用意しておきましょう

ヘルメット	レインコート	下着	ごみ袋	電池・モバイルバッテリー
携帯トイレ	お金	トイレトペーパー	救命胴衣	救急箱
めがね	メモ帳	ホイッスル	カップラーメン	生理用品
ロープ	カッターナイフ	おむつ	おもちゃ	お薬手帳

## 避難するときに気を付けること

台風や大雨は、ニュースを見て予測ができます。  
テレビ、インターネットなどで正しい情報を知り、早めに逃げましょう。  
特に、川の近くや崖の近くに住む人は、気を付けましょう！

- 1 家や会社などから、一番近い避難所・避難場所を、調べておく。
- 2 避難場所までの道を、調べておく。
- 3 家や会社の周りの、危険場所(崖、ため池など)を、調べておく。
- 4 避難するときに、気を付けること。

### 動きやすく安全な服装で

服はレインコートにして、靴はひもで締められる運動靴にしましょう。長靴はやめましょう。手袋、帽子も必要です。防災グッズはリュックサックなどにいれて、できるだけ少なくしましょう。暗いときは、ライトを持つか、光るものをつけましょう。



### 水の中に注意

道に水が溢れているときは危ないので、水の中を歩くときは気を付けましょう。道路の溝や水路に落ちないように、長い棒などで、水の中を調べて歩きましょう。



### 水の深さに注意

洪水のときは、大人でも歩きにくくなります。歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cmが限度です。逃げるのが遅れたときは、建物の高いところに逃げましょう。



### 周りの人と一緒に逃げましょう

1人で逃げると、トラブルがあったときに困ります。逃げるときは、周りの人を呼んで一緒に逃げましょう。お年寄りがいれば声を掛けましょう。(事前に分かるようにしておきましょう)



## 災害がおこる前に用意すること

- ① 家族や友達と話をします。
- ② 家の中を安全にします。
- ③ 逃げるときに必要なものを用意します。
- ④ 避難所を調べて地図を作ります。



## 避難所とは

- ・避難所は食べ物があります。
- ・ねるところがあります。
- ・ルールを守ります。
- ・みんなで助け合います。



## 地震



→ 棚や窓から離れます。

→ ドアをあけます。

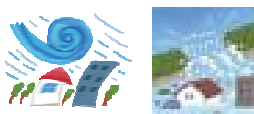
→ 火やガスを止めます。

→ 靴を履きます。

→ 家や外の安全を確認し  
外に出ます。



## 台風・大雨



→ 危ないところへ  
行ってはいけません。

→ テレビやインターネットで  
情報を集めます。

→ 逃げられるように必要なもの  
を用意します。

→ 山や崖が崩れます。  
近寄らないようにしましょう。



## 困ったときの言葉

助けてください

けがをした人がいます

火事です

救急車・消防車を呼んでください

水をください

避難所はどこですか

(ペットも受け入れてくれますか)

トイレはどこですか

## 病気の時の言葉

医者はいいますか

熱があります

痛いです

気分が悪いです

めまいがします

- ・災害の時はみんなで協力します
- ・あなたは一人じゃありません
- ・困ったときはみんなで助け合いましょう



岡山県総社市中央1-1-1  
総社市役所 人権・まちづくり課

総社市外国人防災リーダー

電話 0866-92-8242  
ファックス 0866-93-9476

# 総社市外国人防災リーダーの活動

---



【水防訓練】平成26年6月  
地域の消防団とともに土のう作り訓練



【防災訓練】平成27年11月  
「教える側」として参加



【研修参加】平成27年2月  
岡山県国際交流協会主催の  
「外国人と共に学ぶ災害時対応」研修に参加

# 平成30年7月豪雨での活動

---

外国人防災リーダー，外国人ボランティアも被災地で支援活動



# 総社市外国人防災リーダーの役割

- ・ 防災情報の提供  
(台風情報など, SNSを利用し8か国語で発信)
- ・ 避難所の運営協力
- ・ 外国人避難者の心のケア
- ・ 外国人避難者への  
正しい情報伝達・ニーズの把握  
など



総社市多文化共生（人権・まちづくり課）Soja shi Tabunka Kyousei - Jinken Machizukuri-ka  
2022年9月17日

総社市外国人防災リーダー（そうじゃし がいこくじん ぼうさい リーダー）から～  
やさしい日本語  
みなさん、台風(たいふう)14号(ごう)のお知らせ(おしらせ)です！  
台風(たいふう)は、昨日(きのう)9月(がつ)16日(にち)より強く(つよく)なっています。月曜日(げつようび)9  
時(じ)頃(ころ)に北九州(きたきゅうしゅう)に近づきます(ちかづきます)。その後(ご) 岡山県(おかやまけん)  
に來る(くる)と予想(よそう)しています。  
岡山県(おかやまけん)に月曜日(げつようび)の夜(よる)にいちばん近づきます(ちかづきます)。夕方(ゆうが)  
たから強い(つよい)風(かぜ)と大雨(おおあめ)が降る(ふる)予定(よてい)です。  
みなさん気を(き)をつけましょう(きを)つけましょう！  
ベトナム語  
THÔNG TIN BÃO SỐ 14  
タガログ語  
Impormasyon ng papalapit na Bagyong 14  
中国語  
有关台风14号的信息  
ポルトガル語  
Informações sobre o tufão nº 14  
英語  
Typhoon 14 information  
スペイン語  
Información del tifón #14  
インドネシア語  
Informasi Bencana Angin Topan No. 14  
この情報(じょうほう)シェア(しえあ)してください！

